

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
グレートブックスセミナー1	犬塚潤一郎	文章の論理構造を理解し、自分の考えを論理的に表現する、討論を行う。丁寧に積み重ねてきましたので、それぞれに力がついたという実感は本物だと思います。実社会では、文章の論理力、またオンラインを中心とした討議での能力が問われますので、このスタイルを十分に身に付けられるよう、今後の学習場面にも配慮してください。
ビジネス特論 a（環境ビジネス）	菅野元行	履修生69名中20名の方々に回答していただき（回答率29%）、総合的な満足度が4.70（5.00が最高点）となりました。昨年度と比べて回答率（30%）は同様でしたが、総合的な満足度は昨年度の値（4.44）よりも高い評価が得られました。 自由記述欄にも記載していただいた方々に御礼申し上げます。その一部を掲載します。「様々な環境問題について学ぶことができた。また、説明を聞いたたり、資料を見たりしながら文章にまとめる力が身についた。」「環境の現状を理解し、これからの社会に何が必要なかを考える力が身についた。」「今までは授業を受けたらそれで終わりというような姿勢だったが、この授業を通して授業内で気になったことは自分で細かく調べようになったこと。」「世界で起こっている環境問題についての理解が深まった。」「授業を聞いて、それを文字にまとめる力が身についた。」「授業資料・授業音声全てにおいて本当にわかりやすくよかったです。また、課題を提出する際に感想や質問などを書くこと次週に必ずコメントを返して下さることが本当に嬉しく、授業が楽しいと思える一つの理由でもありました。」「質問・感想への回答が分かりやすかったため、毎回積極的に取り組むことができた。」「 今後も気候変動対策や生物多様性などの難しい環境問題を分かりやすく伝えることに励みます。
自立生活論 a（健康）	須賀由紀子	全体的に満足度高く、豊かに生きるということ、健康な暮らしへの目の向け方などについての視点を得ることができたようでよかったです。学んだことを、ぜひ、日々の暮らし、またこれからの生涯の人生に活かしていただければと思います。
ゼミナール	行実洋一	コロナによって対面によるゼミ開催ができなかったため、満足度が不十分だったようです。後期でどうにか改善していきたいと思います。
生活産業創出論	須賀由紀子	オンデマンドでも不自由なく、じっくり資料を見ていただいたり、関連のサイトをご覧いただいたりして、生活産業に興味を持っていただくことができ、よかったです。引き続き、社会の動きに目を向けてください。
メディア経営論	犬塚潤一郎	受講学生とは毎授業回、密接に意見をやり取りしながら進めており、それに追加するアンケートへの記載もないため、あえてここに記載する内容はありません。
メディアコミュニケーション a	行実洋一	全体的に高い満足度を得ることができたので、今後もこの方向性で授業内容のより向上を目指したいと思います。
環境科学概論	菅野元行	履修生63名中45名の方々に回答していただき（回答率71%）、総合的な満足度が4.56（5.00が最高点）となり、昨年度に比べて回答率（昨年度80%）は減少しましたが、総合的な満足度（昨年度4.42）は増加しました。 自由記述欄にも多くの方に記載していただき、回答していただいた方々に御礼申し上げます。自由記述から一部を掲載します。「毎回の授業内容から要点を引き出し、箇条書きでなく文章でレポートをまとめるという作業は、難しく慣れるまで時間がかかりましたが、結果的に分かりやすくまとめるという能力が身についたと感じます。」「環境と企業のつながりや、大気などについての理解が深まった。」「環境の本質について理解を深めることができました。」「地球について様々な仕組みを科学的な見方から知ることができた。」「環境に関するテレビのニュースや新聞の記事を見て考える力が身についた。」「環境に関する様々な取り組みを詳しく知ることができた。」「 「環境について改めて考えることができ、自分がどうしていくべきか考えることができた。」「地球や太陽、環境問題への理解を深めることができました。」「環境のことを考える前提となる知識を身につけることができた。普段身のまわりで起きている現象への理解が深まった。」「環境科学の中で私たちが興味のある問題に対してお話しいただき苦手意識を持つことなく学ぶことができました。」「自分の興味のなかった分野を知るきっかけになった。」「紫外線やオーロラなどについて、自分の知らなかった情報(知識)を多く得ることが出来た。」「理系は苦手だったが、地球環境や太陽について基礎的な知識を身につけることができた。」「環境について深く知りたいと思え、自分から調べるようになりました。」「聞きやすく、映像授業も受けることができ、さらに理解を深めることが出来ました。」「知ってるつもりで知らなかったこといろいろなことを学びました。」「質問や感想に対する丁寧なフィードバックがあったことで、より学ぶ意欲を持つことができました。」「環境について後期もその後も学んでみたいと思いました。」「この授業は飽きないように工夫されていてよかったですと思います。」「他の方も仰っていたことになりましたが、授業コメントに返信をして下さったのが嬉しかったです。また、履修者全員のコメントが見られることで、自分では気づかなかった意見も知ることができ、よかったです。」「授業時間の配分に工夫がされており、100分間集中することができたから。」「 その他のコメントもすべて拝見しました。ありがとうございました。 今後も分かりやすい授業を心がけます。

[2021（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
プロジェクト実践演習 a	須賀由紀子 合原勝之	デザインすることの楽しさに気づいた、デザインするときのアプローチ法が身についたというコメントがあり、何よりです。この授業で学んだことをもとに、いろいろな表現に目を向けてみてください。
環境思想 a	犬塚潤一郎	少人数クラスで、綿密に討議と課題執筆を重ねてゆきましたが、応じて理解の深まりも実感できました。思想・理論書の読解に、今後も向かい合ってゆかれそうですよう期待しています。
現代社会を読み解く b (生活と産業)	須賀由紀子 行実洋一	全体的に高い満足度を得ることができたので、今後もこの方向性で授業内容のより向上を目指したいと思います。
家庭経営論	高橋桂子	皆さん、こんにちは。半期、お疲れ様でした。皆さんとは火曜日の5時限という、夕方の時間、ご一緒しました。家庭科の教員免許取得者が多く、新学習指導要領に応えようと、あれもこれもと、盛り沢山の講義だったかもしれません。よくついてきてくれました。Respon、いつも楽しみにしていました。ZOOMだからこそ、コメントへのレスもしっかりおこなっていきたいと思います。充実した大学生活になりますように。高橋
女性社会論 a	須賀由紀子	女性としての豊かな生き方について、新しい視点をいただけたかなと思います。この授業で得たことを参考に、豊かな人生を生きるために大切なことを、これからも学び続けていただければと思います。
メディア社会概論	行実洋一	全体的に高い満足度を得ることができたので、今後もこの方向性で授業内容のより向上を目指したいと思います。
環境の化学と工学	菅野元行	履修生39名中15名の方々に回答していただき（回答率38%）、昨年度と同等の回答率（37%）になりました。昨年度よりも充実した授業内容にすることができましたが、総合的な満足度が4.60（5.00が最高点）となり、昨年度の値（4.77）よりもわずかに減少しました。自由記述欄にも記載していただいた方々に御礼申し上げます。その一部を掲載します。「現代の社会課題について理解を深めることができた。」「現代社会の問題点や課題を踏まえ、解決策などを考える力が身についた」「原発や放射能の問題について興味を持った。」「リサイクル方法など、様々な方法があることを学ぶことができて良かったです。」「環境問題についての理解が深まった。」「課題の形式から、より授業に集中して受けることができ、更に質問や感想への対応が分かりやすかったため積極的に取り組むことができた。」「資料や音声も分かりやすかったです。ありがとうございます。」「この授業の内容は正直、苦手分野でした。しかし、菅野先生が教えてくださるということを受けことを決めました。全ての授業を受け終わった今、新たな知識がたくさん増え、本当に受けてよかったなと思います。」「今後も原発やプラスチックリサイクルなどの難しけれども大切な環境問題を分かりやすく伝えることに励みます。
映像制作演習 b	犬塚潤一郎	動画編集をはじめ、未経験のソフトウェアについて理解し使いこなすことが求められましたが、ある程度は自力で学び対応することができましたね。ソフトウェアの世界では、次々に新しい製品にかわってゆきますので、教えてもらったものしか使えない、というのでは現実に対応できません。その点、皆さんはこの世界の現実に応じた能力を備えていることを証明されたのだと思います。
ゼミナール	河井延晃	3年次配当科目である「ゼミナール」は、原則対面としつつも緊急事態宣言の発令とともに一時的にオンライン（のちに対面に戻す）での授業となりました。ほとんどの項目（設問7, 8除く）で平均値を超えています。それらを含めて以下改善案などを提示します。まず、授業の理解度が87.5%（全体平均値78.5）と高い値になっています。これは、教員の努力という考え方もできますが、予習復習時間が2時間（全体平均1.14）という回答と比例しているものとも言え、学生の予習復習の努力の結果ともいえます。ただし、2時間は文科省が提示している予習復習時間とほぼ一致していることから本授業での予習復習時間は適切なものだったといえます。次に「5-10」の項目は高い値でしたが、「7.説明のわかりやすさ」が4であり、やや平均的でした。これは、本授業の前期内容がおもに文献輪読であり、学生の報告を中心にしたことも関連すると考えます。これについては、報告後に教員が解説を加えるなどで、学生の発表に対する理解度をさらに向上させることが期待できます。「Ⅲ 全体について」もすべての項目で平均値を超えています。14の自己評価が（平均値は超えているものの）他ほど突出して高くない4という評価になっていました。ただし、アンケート後の成績評価などでも納得してもらえ、履修生はそれなりに高い意識で課題や発表をこなしていたと思います。この点では、教員からのエンカレッジをもう少し行うことと、後期の授業ではさらに向上心の高いゼミ生に向けて、グループワークやプランニングなどの内容を考えています。以上のように、前期の本授業（ゼミ演習）はゼミ生の高い意識に支えられたうえでの、高い授業評価だったともいえます。さらに発展的な内容を後期は想定していますので頑張ってください。
メディアプロデュース論	行実洋一	全体的に高い満足度を得ることができたので、今後もこの方向性で授業内容の向上を図りたいと思います。

[2021（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	須賀由紀子	いつも皆さんの意欲的・協力的な姿勢に、私自身もとても楽しく、新しい発見がたくさんあります。後期のゼミも頑張りましょう！
ライフ・プランニング	犬塚潤一郎	この社会のありようと課題について、多面的に取り上げ、論点をなるべく構造的に分析するように進めてきました。対して、毎回の課題にもしっかりと答えようとする姿勢も明らかで、一人ひとりの成長が実感できるものでした。受講生が多いの個別指導はできませんが、逆に皆さんの多様性を感じ、頼もしく思えました。社会への知的な姿勢を一層育ててゆかれますよう。
家庭経営 a（食生活）	奈良典子	アンケートへの回答有難うございました。皆さんからの貴重な意見を今後に反映していきたいと思えます。
エコビジネス演習	菅野元行	履修生33名中4名の方の回答と、3・4年生の履修科目としては寂しい回答率に留まりましたが、総合的な満足度が4.50（5.00が最高点）となりました。ご回答いただいた方々には感謝します。自由記述欄にも記載していただいた方々に御礼申し上げます。その一部を掲載します。「過去問を解くことで、今までの授業の内容をさらに深く知ることができました。」「解説が分かりやすく、間違えた理由もはっきり分かりました。」「間違えた問題を復習することで皆さんがeco検定に合格することを願っています。
地域エネルギー論演習	菅野元行	履修生8名中2名の方の回答と、3・4年生の履修科目としては寂しい回答率に留まりましたが、総合的な満足度が4.50（5.00が最高点）となりました。ご回答いただいた方々には感謝します。自由記述欄にも記載していただいた方々に御礼申し上げます。そのすべてを掲載します。「プレゼンの資料の作り方がよく分かった。」「パワーポイントを使った資料の作成をし、見やすい資料作りを学べた。」「プレゼン資料の作り方は、今後も必ず役に立つことだと思うので、社会人になる前のこのタイミングで教えていただけて良かったです。ありがとうございます。」「
環境マーケティング論 b	倉持一	本科目はアクティブな学びを主軸として構成されているが、今年度は途中でメディア授業の期間が入ってしまい、周囲との協働というテーマは十分に果たすことができなかった。しかし、評価を見てみると、履修者は全般的に高い評価をしており、本科目の狙いは達成されたのではないかと受け止めている。
少子高齢化社会	須賀由紀子	少子高齢化社会について、課題が多く言われていますが、どのようにその課題解決に向けていけばよいかの視点を得ていただけたようです。この授業で考えたことをもとに、いろいろな世代とぜひ交流して、豊かな少子高齢社会を拓く担い手となっていただけるとよいと思います。
グレートブックスセミナー 1	犬塚潤一郎	文章の論理構造を理解し、自分の考えを論理的に表現する、討論を行う。丁寧に積み重ねてきましたので、それぞれに力がついたという実感は本物だと思います。実社会では、文章の論理力、またオンラインを中心とした討議での能力が問われますので、このスタイルを十分に身に付けられるよう、今後の学習場面にも配慮してください。
自立生活論 b（消費者）	倉持一	回答数が少数のため、あくまで参考的な評価ではあると思うが、理解度、自己成長、満足度が高かったことは、メディア授業期間を挟むという特殊な学習環境下においても、授業運営・展開に問題はなかったと受け止めており、本科目の持つ役割は果たせたのではないかと。
ビジネス特論 b（地域ビジネス）	倉持一	履修者が熱心に授業に向き合い、コミュニティの課題にビジネスの手法で解決を目指すという難しいテーマを真剣に学ぼうという意欲が伺えた授業であった。本科目の狙いの一つは、ビジネスにおける利益追求をいかにコミュニティで持続的に行っていくかを考えることにあり、その難しさや重要性は理解されたものと考えている。

[2021（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
応用メディア技術	河井延晃	<p>本年度の「応用メディア技術」は、対面を原則としつつ、緊急事態宣言下の6月頃は、企画書作成につき限定的に在宅に切り替えました。内容は昨年度の「基礎メディア技術」に対する応用的内容ですが、対面を周知していたことで混乱もなく、意識の高い学生が多かったように思います。（緊急事態宣言下での対面への復帰はアンケートを取ったうえで戻しました。）</p> <p>さて、アンケート返信率は83.3%でしたが、改善点などを中心に以下でコメントをおこないます。まず、授業における予習時間は平均値を超える1.90h（大学全体では1.14）となっていますが、文科省の規定である一コマ（100分）程度の予習復習は妥当であると考えます。実習課題が中盤以降に継続的にあったこともあり、主にPCでの企画書や制作課題の時間に予習復習が費やされたと思います。また、理解度も81%（全体の平均78.5%）で平均をこえていましたが、実習や制作課題に加え、1年次のテキスト（デザインの教本）はそれなりのボリュームがあり、しかも授業ではほぼすべての内容を要求したため、大変だったかもしれません。この「理解度」は、学生の高い授業参加意識にも支えられたものであったと思います。</p> <p>一方で「Ⅱ この授業の内容と方法について」については、すべての項目で4.40-4.80になっておりこれも平均値をすべて超えています。ただし、これは基礎メディア技術を履修している学生が履修していたこともあり、学生からのやり方等への戸惑いが少なかった（「基礎編」をもっとやってみたいという学生側のモチベーションに支えられた）と思えます。また、最終週では提出後にほぼすべての提出者に、修正箇所を指摘して再提出してもらいました。「基礎メディア」の授業よりは厳しいと思われたかもしれませんが、ほぼ全員がきちんと修正されていたのでよかったです。これが、結果的には強いフィードバックになっていたともいえます。</p> <p>「Ⅲ 全体について」についてもすべて平均を超えており、「授業で自分の成長が実感できたか（4.40（全体平均4.21に対して）、「さらに専門的に学びたいか（4.60（全体平均3.92に対して））」でした。しかし、すべての項目のなかで「14.自分に成績を付けるとしたら（3.80（全体平均3.75））」だけが、平均を超えているものの4を切る値でした。この点は、デザインや企画の奥深さなどの難しさを理解したと考え、やや謙虚な内容になっているのかもしれませんが、それほど卑屈になることはない出来だったと思います。教員の反省点としては、もっと教員からほめるなどしてエンカレッジすべきだったかもしれません。出来については、アンケート後に開示されている「教員からの成績評価」を参考にしてください。</p> <p>※以上ですが、本授業は「応用」と銘打っていましたが、「応用」はこれで終わりではありません。応用は今後皆さんが他の授業でのプレゼン・プランニングなどでさらに研鑽されることを期待しています。私の後期2年次配当の科目などでも、「Webテクノロジー演習」と「メディアコミュニケーション論b(Web広告が中心です)」は内容的には表裏になっています。前者はPC室での演習で、後者は講義形式で「ネットマーケティング検定」の教科書を使用していますが、緩やかにつながった内容です。「より深く学んでみたい」と回答された方はぜひシラバスを読んで、履修検討してみてください。</p>
環境マーケティング論 a	犬塚潤一郎	<p>少人数授業のため、理解を確認しながら進めることができました。国際的な文献を取り上げる際は語学能力の上で難しいこともあったと思いますが、取り組まれた成果も実感に結びついていると思います。問題は日本だけで起きていることではないので、開かれたマインドと対応する能力が必要になりますね。</p>
現代社会を読み解く a (政治と経済)	倉持一	<p>今年度初めて担当する科目ということで、何をどのように取り上げるべきか考えながら授業を構成していったが、履修者の評価を読むと、概ね授業の狙いは達成できたものと受け止めている。選択必修科目であるので、必ずしも全員が科目テーマに興味があったわけではないという状況の中で、授業の理解や自己成長の項目で高い評価を受けることができたことは、本科目の役割を果たすことができたのではないかと考えている。</p>
ゼミナール	倉持一	<p>良い評価を得られたと考えています。後期も授業の狙いが達成できるよう、多様な視点から社会課題を分析し、自らの行動に落とし込めるような授業を展開していこうと考えています。</p>
ゼミナール	菅野元行	<p>年間科目のため回答者はいませんでした。今後も授業当日やメールで様々なことを指導します。</p>
環境経済学	倉持一	<p>本科目は今年度初めて担当する科目であったが、環境問題を経済学の合理性を基準に分析し、その背景構造を理解すると同時に、今後のあるべき方向性を考えるという展開は、経済学を専門としない現代生活学科の履修者にとっても受け入れられやすかったものと考えられる。理解度、関心度、自己成長、満足度など、履修者の多くが高い評価をしているので、授業の狙いは達成できたものと受け止めている。</p>
グレートブックスセミナー 2 a	犬塚潤一郎	<p>テキストは、テキストは、(普通に)難しいものもとりましたが、少人数授業では、それぞれの理解を確認しながら進められるので、難解すぎることにならず、手ごたえを感じられたと思います。最終課題について、フォローする時間は形式上とれませんでした。別の機会に対話の場を期待しましょう。</p>